

留 学 報 告 書

記入日:2017年6月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: グリーンリバーカレッジ 現地言語: Green River College
留学期間	2016年9月～2017年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年6月19日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	15,600	1,560,000 円	
宿舍費	7,500	750,000 円	
食費	2,250	225,000 円	
渡航旅費	1,700	170,000 円	
その他	600	60,000 円	
合計	27,650	2,765,000 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	大学アパートメント
2)部屋の形態	
	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)
3)住居を探した方法:	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	個室があるため、共同生活ですが心地よく過ごせます。しかしルームメイトによって夜が騒がしかったり、共同スペースのキッチンなどが汚かったりします。その点が気になる場合は避けたほうがいいかもしれません。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	大学内相談窓口(IPオフィス)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	特になし。
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	調子が悪い時もあるが、寮や学校のWiFiはつながりやすく便利。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	キャッシュパスポートで親に日本から振り込んでもらったものを、現金で引き出していた。また、クレジットカードも併用。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	特になし。
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	学校の支払いページからクレジットカードでの支払い。支払いは授業登録から4日以内。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
	海外に関わる商品やサービスを取り扱う仕事に携わりたい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
35 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (未定)単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Popular Music	アメリカのポピュラー音楽
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 5 回
担当教授	Jessica Jumper
授業内容	アメリカのポピュラーミュージックの変遷や歴史
試験・課題など	2 回の定期試験、学期末のプレゼン
感想を自由記入	アメリカでしか学べない特殊な授業の 1 つで、とても興味深かった。先生も陽気な方で、笑いあり歌ありの、楽しめる授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Environmental Ethics	環境倫理学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 5 回
担当教授	Rebeka Ferreira
授業内容	倫理的観点から環境問題を考える
試験・課題など	毎日のリーディング、毎週金曜日のウェブテスト、最終プレゼンテーション
感想を自由記入	課題も多く、最終プレゼンも準備が大変だが、授業はとても分かりやすく学びの多い授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Criminal Justice	刑事司法
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Ron Riley M.A.
授業内容	犯罪や裁判について
試験・課題など	三回の定期試験
感想を自由記入	定期試験も難しくなく、受けやすい授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
American Minority Ethnic Studies		アメリカの少数民族学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2016 冬学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が5回		
担当教授	Carlos Adams		
授業内容	人種差別や性差別について		
試験・課題など	毎日のリーディング、2週間おきのウェブクイズ、最終レポート		
感想を自由記入	人種問題を様々な人種の人たちがいる教室内で学ぶことができ、とても刺激的。アメリカならではの授業。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Music Appreciation		音楽理解	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が5回		
担当教授	Jessica Jumper		
授業内容	音楽の基礎知識や歴史について		
試験・課題など	2回の定期試験、最終プレゼンテーション		
感想を自由記入	先生の英語がとても聞き取りやすく、授業内容も難解なものではないため、受講しやすい授業。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
General Psychology		一般心理学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		

授業時間数	1週間に140分が2回
担当教授	Joy K. Crawford
授業内容	心理学の基礎知識
試験・課題など	3回の定期試験、ウェブクイズ
感想を自由記入	内容は興味深く、先生の説明も分かりやすいが、授業内容自体が難しく試験勉強は大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Survey of Anthropology	人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017 春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Christine Dixon
授業内容	人類学の基礎知識。人類の進化について。
試験・課題など	3回の定期試験、定期的に出されるディスカッションやフィールドワーク
感想を自由記入	授業内容自体は面白いが、難しい単語が多く使われているため、非常に難しい。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	留学ガイダンス TOEFL IBT 受験 留学申し込み、学内選考
2016年 1月～3月	留学合否発表 奨学金手続き
4月～7月	保険手続き 航空券手続き ビザ取得 渡航前ガイダンス
8月～9月	出国 学校、寮オリエンテーション 第1クォーター開始
10月～12月	中間・期末試験 冬期休暇
2017年 1月～3月	第2クォーター開始 中間・期末試験 春期休暇
4月～7月	第3クォーター開始 中間・期末試験 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は中学のころから英語に興味があり、大学に入ったら留学しようと決めていました。国際日本学部に入学したのも、英語に特化し、豊富な留学プログラムがあったからです。日本でも英語を上達させることはできますが、実際に英語圏の土地に行き、実際に現地の人々と会話してみたいと思っていました。また、私は社交的なほうではないため、人付き合いやコミュニケーションの面からも、新しい土地、新しい人たちに囲まれて様々な経験をしてみたいと思いました。なので私は9カ月のアメリカ留学をすることを決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力を少しでも上達させておくことはもちろんですが、その中でも、1つでも多くの単語を知っていることが重要だと思います。宿題でたくさんリーディングをこなさなければなりません。その時にいちいち調べていると、多くの時間を要します。多くの単語を知っていれば、自分の助けになると思います。また、先生や友達が何を言っているか、単語それ自体を聞き取れても、単語の意味が分からないということが多くありました。単語力のなさを痛感することが多々ありました。
この留学先を選んだ理由	私が留学していたグリーンリバーカレッジは、今までに多くの留学生を受け入れていています。その経験から、留学生へのケアが手厚く、留学生に向けた様々なサポート制度があります。長期留学ということもあり、心配や不安が多くあったため、その制度に魅力を感じ、グリーンリバーカレッジに決めました。シアトルは比較的治安がいいとも聞き、その点にも魅力を感じました。また、私は都会より少し落ち着いた土地のほうが好きということもあり、ダウンタウンから少し離れた学校を選びました。
大学・学生の雰囲気	大学キャンパスは緑に囲まれ、落ち着いたとてもいい雰囲気です。晴れた日には芝生やベンチでご飯を食べたりおしゃべりをします。また、ユニバーシティのように広くなく、キャンパスを歩いたり、図書館に行けば友達と絶対にすれ違いません。なので友達との距離が近く感じるキャンパスだと思います。学生は親切な人ばかりで、声をかけ辛く感じる人も全くいないため、安心して過ごせると思います。困っていれば声をかけてくれる人たくさんいます。
寮の雰囲気	寮ではコミュニティールームで頻りにイベントが行われています。フリーフードを提供してくれたり、テスト期間にはパンケーキナイトを開催してくれます。また、ゲームやムービーナイトも開催されています。たくさんイベントに参加することで、友達も作れると思います。友達の部屋への行き来が簡単にでき、週末はみんなが誰かの部屋に集まるため、少しうるさいと感じる人もいるかもしれませんが。しかし夜はセーフティーが巡回してくれたり、困ったらオフィスがすぐに助けてくれるため、過ごしやすいです。
交友関係	週に2回、キャンパストークが開催されます。キャンパストークとはお菓子やコーヒー、紅茶を飲みながら自由に英語でおしゃべりができる場です。そこには英語を話したい人、おしゃべりが好きな人が来るため、とても友達を作りやすいです。キャンパストークでよびかけたホットポットパーティーを休暇中に開催していたりしたため、学外で遊びに行く友達もできると思います。また、ジムでバドミントンなどをしていっていると一緒にやろうとなることもあるので、ジムも友達を作る場に良いと思います。
困ったこと、大変だったこと	寮生活では当初戸惑うことが多々ありました。私のルームメイトはみんなとても良い人たちでしたが、共有スペースの使い方や片づけ方に関しては合わないところがあり、大変でした。特にキッチンには困ったことが多く、ごみを捨ててくれなかったり、洗ったものをずっとためていたりしました。しかし、お願いすればしっかりとやってくれました。また、私の友達の部屋では、気になったことがあれば付箋をはってみんなが読めるようにするなど工夫していました。
学習内容・勉強について	授業は慣れるまでもちろん大変ですが、慣れて要領をつかめさえすれば大丈夫です。授業中に先生の言葉が聞き取れず、何をすればいいかわからないことや、なかなか自分の思っていることを英語で伝えられず、ディスカッションに参加できないなど、落ち込むことも多くありましたが、慣れていくにつれてそのようなことも減っていきました。また、先生もクラスメイトもとても親切です。質問をすれば時間をかけて答えてくれますし、課題と一緒に取り組むこともありました。
課題・試験について	課題や試験は、授業や先生によって種類も量も大分異なりました。多いものでは毎日リーディングをし、ノートにその内容をまとめ、更に週末にはウェブテストを受けなければならず、することがない日がほとんどありませんでした。テストは覚える量が膨大で、非常に苦しみました。しかし、自分が興味のある様々な分野の授業をとることができるため、課題やテストは苦にはなりませんが、楽しみながらできました。たとえ勉強が大変でも、自分がモチベーションを保つことのできるような授業を選んだほうが良いと思います。

大学外の活動について	大学外ではボランティア活動に参加したり、大学が開催してくれる遠出イベントに参加していました。ボランティアはフードパッキングや、大学イベントの運営サポートをしました。イベントでは、車なしではなかなか自分たちでいけない場所でのハイキングや、スポーツ観戦に連れて行ってもらいました。簡単に申し込むことができ、値段も自分達で行くより安く済むのでお勧めです。このイベントのおかげでたくさん観光ができました。また、参加した際に新しい友達を作ることができました。
留学を志す人へ	最初や最後はモチベーションを保つことができますが、中間地点で中だるみしがちです。新しい環境にもなれ、友達ができ、授業の要領もつかんでくると手を抜きやすくなります。せっかくの留学です。友達と様々なところに出かけ、遊ぶことも重要ですがやるときはやる、遊ぶときは遊ぶと決めることが大事だと思います。かといって勉強に焦点を当てすぎるともったいないので、たくさん楽しんでたくさん思い出を作ったほうが良いと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	授業	授業	授業	授業		外出	
午後	授業	授業	授業	授業	授業	外出	自習
						外出	自習
夕刻	授業	ジム	授業			外出	
夜						外出	